

【M5 Mold 入門コース】トレーニング内容

対象者:M1 コース修了者および設計の知識のある方

利用システム:Space-E/Mold

Space-E/Mold の操作方法、標準コマンドのプレート・部品作成・編集方法、冷却設計、およびオリジナルのユーザ部品作成機能など、3 次元金型作成モデリング機能について学びます。

◇標準コマンド

モールドベース作成コマンド

＜プレート一括作成／おも型作成／入れ子設定／たわみ計算／エジェクタピン／ボルト／
ライン・スポット／練習問題＞

部品作成・冷却設計コマンド

＜ガイドピン／ガイドブッシュ／ホットランナーブロック／ランナー／ゲート／スプルーロケート／
サポートピラー／冷却設計／練習問題＞

拘束・部品編集コマンド

＜拘束／干渉チェック／重量計算／重心計算／穴部品編集／部品表／穴表／部品編集／練習問題＞

◇標準コマンド総合練習

＜設計の流れ／モールドベース作成／キャビコア分割／たわみ計算／部品配置／冷却設計／
部品表／穴表＞

◇付録 アンダーカット設計

＜傾斜スライド作成／傾斜ピン・ユニット作成／アンダーカット部作成／スライドコア作成／
ガイドレール作成／ロッキングブロック作成／アンギュラピン作成＞

◇付録 穴あけ

＜特徴／作業の流れ／CAM ヘモデル＆フィーチャー取り込み／加工フィーチャパレット／
加工フィーチャー変換／フィーチャツリーから加工工程作成／経路計算と確認＞

◇付録 図面化

＜特徴／作業の流れ／アレンジモード起動／対象モデル選択／投影図と配置方法／投影図作成／
穴表作成＞

◇ユーザ部品とユニット部品

第 1 章 ユーザ部品の基礎

＜ユーザ部品の構成と管理／作業の流れ＞

1 フリー寸法ユーザ部品 ＜モデリング／変数作成と関連付け／属性設定／登録と配置＞

2 定義寸法ユーザ部品 ＜属性定義ファイル作成／登録と配置／演習＞

第 2 章 ユニット部品の基礎 ＜ユニット部品の構成と管理／作業の流れ／部品配置／位置決め拘束
／パブリッシュ変数／寸法繋ぎ／部品登録と配置／演習＞

第 3 章 活動化非活動化機能を利用した部品作成 ＜活動化非活動化／非活動化索引付加＞